

2026年群馬県内企業の夏季ボーナス支給額アンケート調査

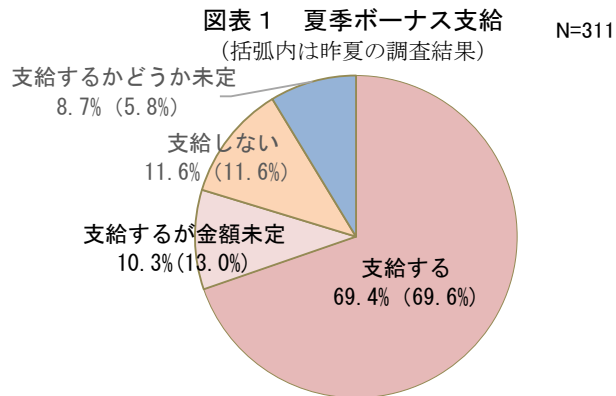
群馬経済研究所 主席研究員 片貝弘明

県内企業に対して、下記の通り、今夏季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

【アンケート調査要領】	
調査時期	2026年4月中旬～5月上旬
調査対象	県内に事業所を有する企業1,969社
調査方法	郵送により配布、回収
回答数	311(回答率15.8%)

1. ボーナス支給の有無

今夏は、「支給する」、「支給するが金額未定」を合わせ、79.7%の企業がボーナスを支給する予定である(図表1)。昨夏の調査では82.6%であり、前年と同水準のおよそ8割程度の企業が支給予定である。



2. ボーナス支給額の見通し

今夏のボーナス支給見込み額と昨夏の実績をあわせて調査したところ、従業員数で加重平均した今夏の一人当たりボーナス支給額は、50万300円(昨夏比+3.8%)となり、平均支給月数は、1.87か月(同+0.04か月)となる見通しである(図表2)。業種別では、昨夏に比べ、製造業、非製造業とも支給額および支給月数が増加するとみられる。

図表2 県内企業の夏季ボーナス支給額と支給月数

(単位:社、円)

	回答企業数	支給額			支給月数		
		26年	25年	増減率	26年	25年	差
全業種計	162	500,300	481,900	3.8%	1.87か月	1.83か月	0.04か月
製造業	47	552,300	528,000	4.6%	1.93か月	1.88か月	0.05か月
非製造業	115	463,700	449,500	3.2%	1.83か月	1.80か月	0.03か月

注:業種が不明な先は除く。100円未満を四捨五入

従業員規模別でみると、今夏は昨夏に比べて、すべての従業員規模で支給額が増加する見通しである（図表3）。

図表3 従業員規模別の夏季ボーナス支給額

（単位：社、円）

従業員数		29人以下	30人以上 99人以下	100人以上 299人以下	300人以上
		回答企業数	66	64	23
支給額	① 26年	411,600	451,800	502,900	578,500
	② 25年	404,900	429,600	500,300	545,000
	差額①-②	6,700	22,200	2,600	33,500
	増減率	1.7%	5.2%	0.5%	6.1%

注：従業員数の不明先を除く。100円未満を四捨五入

3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期については、3分の2程度の企業が7月中に支給する見込みであり、7月末までにほとんどの企業が支給する（図表4）。

今夏はボーナス支給額が全体で増加する見通しとなっているが、一方で、食料品の値上げなど物価の上昇が続いている。ボーナスがどの程度消費を喚起するのか、注目したい。

図表4 夏季ボーナス支給時期

（単位：社）

支給時期	回答企業数	構成比
5月以前	5	2.1%
6月1日～10日	11	4.6%
6月11日～20日	19	7.9%
6月21日～30日	22	9.2%
7月1日～10日	66	27.6%
7月11日～20日	62	25.9%
7月21日～31日	30	12.6%
8月以降	24	10.0%
合計	239	100.0%

注：支給時期の不明先を除く

4. ボーナス支給に影響を与えた要因

ボーナスを支給すると回答した企業に、今夏の支給に影響を与えた要因を尋ねたところ、増加要因では、4割を超える企業が「給与水準の変更」、「消費者物価の上昇」と回答した。また、「人手不足」とする企業もみられた（図表5）。

一方、減少要因では、23.5%が「原材料価格の上昇」、18.5%が「エネルギー価格の上昇」と回答した。

図表5 ボーナス支給に影響を与えた主な要因（複数回答）

